

会議の名称	正副委員長会議	開催月日・令和4年6月16日 開会時間・午前・午後3時00分 閉会時間・午前・午後3時14分
出席者	南谷 佳寛 後藤 國弘 南谷 清司 毛利 廣次 柴田 喜朗 安井 智子 花村 隆 川柳 雅裕 原 一郎	
欠席者		
傍聴者		
説明のために出席した者	堀議会事務局長 藤井議会総務課長 大下議会総務課課長補佐 中村議会総務課主任	
協議事項	協議事項 ○ 行政視察について ○ その他	

(開会＝午後 3 時 0 0 分)

南谷佳寛議長

今から正副委員長会員を開会いたします。

本日の正副委員長会議は行政視察についてを議題とさせていただきますのでお願いいたします。

行政視察の実施状況については、県内各市への照会結果がまとまりましたのでお知らせいたします。現状では 8 市が行政視察を実施し、うち 2 市は日帰りを実施、1 市は市内を基本として行っています。海津市は今年度に入り実施を決めており、岐阜市は今月に実施を決めています。今後の対応においては、羽島市と同じく今後検討が 1 3 市、当面行わないが 6 市となっています。各市議会では、慎重に対応について見極めたいと見受けられます。また、県が発する基本的な感染防止対策、特に移動や飲食での危険回避、訪問先での対策、対応を遵守することも新たに求められています。このような結果を踏まえ、羽島市議会において行政視察の実施についてどのように進めていきますか、皆さんのご意見を伺いたいと思います。

南谷清司議員

直接訪問して目で見る、耳で聞くということは大変効果があることは重々承知しているんですが、今の時点で実施をするというふうに決めるのはちょっと早いような気がします。インターネット等で様々な情報を取ることが可能ですので、そう慌てて決めなくてもいいのかなというふうに考えております。

毛利議員

今後検討ということでよろしく申し上げます。

花村議員

実はですね、産業建設委員会の方では、委員から要請がございまして、新濃尾大橋の建設現場を視察したいという要望が強くございましたので、ちょっと勇み足ではあったんですが、その意向を土木課の方へ伝え、県の方の日程を聞いてというふうで問い合わせしている最中でございます。これに照らし合わせますと、市内の行政視察、新濃尾大橋ですから屋外での行政視察となりますけれども、この関係については市内での行政視察について行っていただくと、辻褄が合ってよるしいかなということを考えておる次第です。

川柳議員

私はこの例にありますように、日帰りというのに私は着目しています。この日帰りの理由というのはきっと飲食をする機会をできるだけ少なくしようということだと思いますの

柴田議員	<p>で、例えば日帰りであれば最低お昼ぐらいのいわゆる昼食だけで済むと思いますので、飲食の機会を少なくすれば感染リスクがかなり下がるとと思いますので、私は日帰りでの視察案には賛成です。</p>
安井議員	<p>私はこの可児市さんが行っているような感じ、市外は基本的にやらないけども、議長に相談の上でそれも可能になるという形と、市内であればとりあえず視察ができるといった形をとるというのはありかなというふうに思っております。以上です。</p>
原議員	<p>私もですね、今後検討しながら、やはりもう何もなしというのではなかなか前に進んでいかないということを思っておりますので、マスクなり何なり、いろいろ気をつけながら市内で日帰りだったらいいのかなというふうには感じております。</p>
南谷佳寛議長	<p>私も今後検討で、状況を見ながらでいいと思います。</p>
安井議員	<p>とりあえず産業建設委員会の方が新濃尾大橋を視察されるということを聞いておりますが、本当に日帰りで、もちろん夜の飲食もないので問題ないかと思いますが、他の委員会の方々は今のところちょっと検討する。</p>
南谷清司議員	<p>先日ちょっと病院関係とか、そんなところの話を聞きたいねというところの検討がありまして、もしかしたらそちらに出向いてお話を聞くとか、というふうな場合もありますので、花村議員さんのような感じで。行く可能性も、市内です。</p>
南谷佳寛議長	<p>羽島市議会議員ですので、市内の状況を確認に行くというのは職務上必要なことですので、この可児市さんのように議長と相談をして、行っていただくような仕組みはあっていいんじゃないかなとは思っています。</p>
	<p>皆様のご意見を聞いていますと、今の南谷議員の発言のように、本当に市内のことは我々議員としていろんなところを見に行くのは責務のようなものなので、それは認めるということで、今後泊まりでというか、今までのような行政視察は、今年度の行政視察はコロナウイルス感染症の影響があるため、引き続き、当面泊まりの視察は見合わせるということでよろしいですか。もう少しそれとも他市の状況を見たり、夏ごろまで待ってみるとか、どうしたらいいですか。そのあ</p>

	<p>たりを。</p>
毛利議員	<p>相手側がいることなので、なかなか難しいと思いますので、日帰りとかそういうものならいいけど、難しいと思いますね。</p>
柴田議員	<p>ちょっと聞きたいんですけど、例えば岐阜市さんとか海津市さんとか、今年度から認めるという形で市外の視察をOKにしていますけど、これ受け入れとかというのはどうなんでしょう、例えば岐阜市の方が羽島市を見たいみたいな形になったときに、羽島市としては受け入れはされる予定ですか。</p>
南谷佳寛議長	<p>視察に当たるかどうかわかりませんが、なごみスポーツクラブなどの竹鼻中学校の部活動の地域移管というか、あれは結構外から視察に来られています。他の視察は聞いてないんですけど、あれはもう去年も10くらい来て、今年ももう数件来たということを知っています。</p>
柴田議員	<p>それは常任委員会単位で来ているのですか。</p>
南谷佳寛議長	<p>違います。スポーツ推進課と羽島なごみスポーツクラブのところに、相手はやはり教育委員会とか、そういうところから来ています。</p>
川柳議員	<p>政府も今県民割とかって言って岐阜県内だけだとか、都道府県内だけの移動に関してはいろんな特例サービスを付け加えて、いわゆる元に戻すというか、感染を拡大しないように経済を活性化させるということをやっているわけですから、私は羽島市は当然として、岐阜県内だったら私はどんどん先進事例を見に行くべきだというふうに私はそういうふうに思っています。</p>
南谷佳寛議長	<p>という意見がありました。</p>
安井議員	<p>今後検討というところのものにしておいて、やはりまだどういう状況になるかわからないというところがあるので、ある程度ちょっと気をつけながらというものが必要だと思うんですけども、ただ、年末ぐらいになったときには本当に県民割、いろんなところ行き来してもいいよとかという情報も来るかと思うので、その時にまた議長さんと相談というか、これは駄目ですというような決め方ではなくて、ちょっと枠を広げておいた方がいいのかなというふうに思います</p>

南谷佳寛議長	<p>けれども。</p> <p>ここにもありますように、岐阜市も今月になって実施を決めたり、海津は今月に入り実施を決めたりもしていますので、もう少しそれでは行政視察というのは様子を見ることにして、市内の施設を訪問したりするのは積極的にやっていただきたいと思います。それでよろしいですか。</p>
南谷清司議員	<p>お手数ですけど、6月議会が各市終わった頃にもう一度調べていただけると、まだ6月議会途中ですので、この今後検討というところは6月議会で決まるかもしれませんが、お願いですけど。</p>
南谷佳寛議長	<p>それではもう一度、調査願えますでしょうか。</p>
南谷清司議員	<p>各市6月議会やってますので、6月議会の閉会の際に決めるかもしれませんが、だいたい6月議会終わって決めただろうなという頃にちょっと調べてもらおうと、今後検討というのが減っているんじゃないかなと思います。</p>
川柳議員	<p>この市外でも視察OKというところ、丸がついているところを見ると、どこも観光地を抱えているところですね、世界的な、だからその気持ちわかるんですよ。だから白川郷へ来るとか、外国人もどんどんこれから来るように政府は一応指導しているわけですから。私はこれを例として、もっと柔軟に考えれば私はいいと思います。</p>
南谷佳寛議長	<p>とりあえず今月末までに、他市の実施状況も調べていただいて、我々の方はもう一度検討するというので、正副委員長会議を開くのは来月になりますけど、調査結果をまた踏まえて皆さんと相談したいと思います。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【閉会=午後3時14分】</p>